

【部活】ハンマー投げによる死亡・障害

日本スポーツ振興センターデータベース

西暦	記号	死亡・障害	死亡障害種	学校種	被災学年	性別	競技種目	発生場所2	発生状況	
1	2006	18障337	障害	精神・神経障害	高	2	女	投てき	運動場・校庭（園庭）	陸上部活動中、講師が自ら指導のためハンマーを投げたが、失投してしまった。本生徒は、投げる前の合図に気づかずハンマーサークルに背を向けるように立っていたので、サークルのフェンスを越えてきたハンマーに気がつかず、頭に当たり負傷となった。
2	2011	23障250	障害	精神・神経障害	高	2	男	投てき	運動場・校庭（園庭）	ハンマー投げの練習中、他の部員の投げたハンマーが本生徒の頭部を直撃した。
3	2013	25障242	障害	足指切断・機能障害	高	2	男	投てき	学校外運動場・競技場	陸上競技部の夏季合宿で、投てき練習中、他の部員がうまく回転できずに途中で投げるのを止めた。その際、滑って手からハンマーが離れ、10m位離れて順番を待っていた本生徒の方向へ飛んで来た。本生徒はとっさに足を引いたが、右足指先にハンマーがあたり負傷した。
4	2014	26障254	障害	視力・眼球運動障害	高	1	男	投てき	学校外運動場・競技場	運動公園で記録会へ参加中、ハンマー投げの練習をしていて、網にハンマーが引っかかり、そのハンマーを取ろうとしたときに、バランスを崩して前方に倒れて顔から地面に落ち、前頭部・右眼の上を打って、落ちたときに左手首を捻った。
5	2015	27障271	障害	外貌・露出部分の醜状障害	高	2	男	投てき	運動場・校庭（園庭）	部活動での朝練習時、投てきのハンマーの練習中、他の生徒が投げたハンマーが、腹部に直撃した。
6	2018	30死44	死亡	頭部外傷	高	2	男	サッカー・フットサル	運動場・校庭（園庭）	サッカー部活動の練習中、ミニゲームでコート外に転がったボールを拾っている際、グラウンド隣で練習していた陸上部の生徒が投げたハンマーが頭部に当たり、頭部外傷を負った。職員が心肺蘇生を行いながら救急車を要請。緊急搬送されたが死亡した。
7	2020	2020障-24	障害	外貌・露出部分の醜状障害	高	1	女	投てき	運動場・校庭（園庭）	陸上競技部の練習中、運動場のネットが無いところでハンマー投げの選手の動画を本生徒が撮っていた際、ハンマーが飛んできて頭を強く打ち、額から大量の血が出た。左前額部に線状痕が残った。

ハンマー直撃・高2死亡

軽い女子用ハンマー使用も要因か 飛距離伸びた可能性

産経

2017/12/23

藤岡中央高校（群馬県藤岡市）で2年生のサッカー部員、大広一葉さん（17）の頭に競技用のハンマーが直撃し大広さんが死亡した事故で、ハンマーを投げた男子生徒が女子用のハンマーを使用したことで軌道がずれ飛距離が伸びた可能性があることが22日、関係者への取材で分かった。陸上競技部顧問が不在になるなど同校の安全管理面での問題が分かっているが、この顧問は男子生徒による女子生徒への指導があるのは知っていたが、「男子生徒が女子用のハンマーを投げるとは思わなかった」という。

21日に行われた同校の会見で、市川敏美校長はハンマーを投げた陸上競技部3年の男子生徒は男子用の7・26キロのハンマーではなく4キロの女子用ハンマーを投げたとし、それが「事故の要因の1つ」とした。男子生徒から大広さんは48メートル離れていたが、この距離は県トップレベルの女子選手の記録とほぼ同じという。県高体連関係者は「女子用のハンマーは軽いため、男子用より飛距離が伸びたと考えられる」と分析している。

大広さんが倒れていた位置は扇形の投擲（とうてき）ラインから大きく南に外れていたことも分かっている。関係者によると、ハンマー投擲用のサークルを囲む防御ネットもあり、通常通り投げれば大広さんが倒れていた北側ゴールポストの手前に飛ぶことは「ほとんどあり得ない」という。さらに「1秒でも投げるタイミングがずれていれば事故は起こらなかったのでは」とし、偶然が重なり事故に発展した可能性があるとした。

同校の部活動は23日午後から再開するが、陸上部とサッカー部は再開のめどが立っていないという。

<https://www.sankei.com/article/20171223-FGV0DZQSV5MJTBFEHB14U3SP5U/>